

北海道で働く人のリアルがわかる! 高校生・大学生のためのキャリア探求マガジン

未来の しごとの参考書

vol.7
介護のお仕事編

頼りにされる嬉しさも。
成長できる楽しさも。
のぞいてみよう介護の世界。

まるわかり! 介護のシゴト

巻頭インタビュー

教えて! 介護ではたらく魅力

「はたらく仲間」に聞きました。

介護職のココがスゴイ!

介護を学ぶセンパイに聞いてみよう!

北海道介護福祉学校

学生インタビュー

TAKE FREE

©編集発行 HAJ(株)北海道アルバイト情報社
札幌市中央区南2条西6丁目13-1
<https://www.haj.co.jp/>

©取材・編集 有限会社シーズ
©発行日 2021年4月30日

未来の しごとの参考書

vol.7 介護のお仕事編

03 まるわかり！介護のシゴト

05 介護福祉士について知ろう。

07 介護福祉士になるには？

巻頭インタビュー

教えて！介護ではたらく魅力

09 介護老人保健施設 コスモス

荒木 桃子さん

13 特別養護老人ホーム 南幌みどり苑

山川 昂平さん

19 小規模多機能型居宅介護 コミュニティ青葉

澤井 菜月さん

21 介護老人福祉施設 シンフォニー

木村 まゆさん

25 QOL向上センター「希望のつばみ屯田」

佐々木 優衣さん

17 へー、オドロキ！ふーん、なるほど！

イマドキ介護の現場から

27 「はたらく仲間」に聞きました。

介護職のココがスゴイ！

29 介護を学ぶセンパイに聞いてみよう！

北海道介護福祉学校

学生インタビュー

31 こんなことを学んでいます！

32 おしえて！あくしち先生！

本小冊子「未来のしごとの参考書」は、株式会社北海道アルバイト情報社が、さまざまな介護業界の仕事や、そこで働く人たちの声や思いを伝えるために製作したフリーマガジンです。

よろこびも、やりがいも、あんしんも。
すべて介護の世界で
見つかります。

私たちが何気なく使う「介護」という言葉は、「福祉」という大きな枠組みの中に位置づけられています。福祉はごく簡単に言うと、幸せな暮らしを支えること。

今、この国が福祉の対象にしているのは主に児童、障がい者(児)、そして高齢者。このうち高齢者を対象とした支援が、一般的に「介護」と呼ばれます。

高齢化が進む日本では、他と比べても介護分野の制度が整い、仕事の広がりも多彩。

老人ホームのような施設職員や自宅を訪れる訪問介護員(ホームヘルパー)。経験を重ねた上でチャレンジできる介護支援専門員(ケアマネジャー)のような仕事もあります。

もしあなたが目の前の人の役に立つことに喜びを感じたり、誰かの力になる仕事に興味を持っているなら、ぜひ介護の世界をのぞいてみてください。

やりがい大きいことはもちろん、しっかり整った仕組みの中で、安心して働ける世界だと感じてもらえるはずです。

高齢者を対象とした支援が「介護」！

高齢者

福祉の対象

障がい者

児童



利用者って誰のこと？

介護の世界で働く人はよく「利用者」という言葉を使います。ここには介護サービス(あるいは介護保険制度)を“利用している人”という意味が含まれ、一般的には介護を受ける高齢者を指します。介護保険制度は、65歳以上の高齢者で介護が必要になった人たち(又は40～64歳で特定疾患の患者)を、社会全体で支える仕組みです。市町村から「介護認定*」を受けた人が利用できます。

※心身の状態から介護サービスによる支援が必要かどうかを判断すること。



「入所施設」で働く

入所施設は、自宅での生活が難しい人たちが暮らす施設です。24時間体制で支援を行うため、交代で夜勤をするのが一般的です。

代表的な職場(事業所)

- 介護老人保健施設
- 特別養護老人ホーム
- グループホーム
- 有料老人ホーム など



「通所施設」で働く

通所施設は、自宅で生活をしている人が通って利用する施設です。一日の中の数時間だけ滞在し、食事介助、入浴介助などの他にレクリエーション等を行います。

代表的な職場(事業所)

- デイサービス
- デイケア
- 通所リハビリ など



「高齢者の自宅」で働く

自宅で生活をしている高齢者を訪問して支援を行います。掃除や買い物の援助や入浴介助などがあります。

代表的な職場(事業所)

- ヘルパーステーション
- 小規模多機能型居宅介護 など



「介護のシゴト」と言っても、働き方はさまざま。どこに、どんなシゴトがあるのか、まずは全体像をチェック！

働く場所は大きく分けて2タイプ

介護のシゴトは「働く場所」で大まかに分類できます。高齢者の「自宅」を訪問して働くか、自宅以外の「施設」で働くか。施設の中にも、高齢者が自宅から通って利用する「通所施設」と、その中で生活を送る「入所施設」があり、仕事内容にちがいが 있습니다。

働く場所で分類

自宅以外

通所施設

入所施設

高齢者の
自宅

介護福祉士の位置づけ

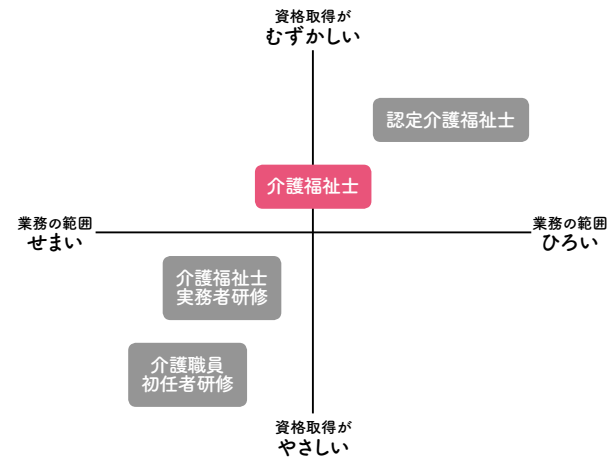
介護福祉士は「介護職員初任者研修」と「実務者研修」という2つの資格（研修）の上位資格に位置づけられています。介護福祉士の上位には認定介護福祉士やケアマネジャーなどの資格があり、スキルアップの目標になるものとして注目されています。

【介護福祉士】介護職唯一の国家資格。養成施設を卒業するなど、受験資格を得るにはいくつかのルートがある。

【介護職員初任者研修】介護業界で働くための基本的な知識、技術を身に付けるための研修。誰でも受講できる。

【介護福祉士実務者研修】幅広い介護技術や医療的ケアについて学ぶことを目的とした研修。誰でも受講できる。

【認定介護福祉士】多様化するニーズに対応できることを示す民間資格。介護福祉士として5年以上の実務経験が必要。



介護福祉士について知ろう。

介護福祉士の仕事

利用者の自宅を訪問したり、デイサービスなどの通所施設、特別養護老人ホームなどの入所施設で介護職員として介護業務を行います。そのほか、利用者の介護をしている家族に助言をしたり相談を受けたり、介護にまつわるさまざまな業務に携わります。

国が認めた公的資格

「介護福祉士」は介護の世界では唯一の国家資格です。国家資格とは知識や技術が一定水準以上に達していることを国が認定した資格で、身近なものでは医師や看護師などが該当します。介護福祉士の資格を持つ人は「介護の専門家」として扱われ、介護サービスを行う事業所や施設には一定数の介護福祉士を置くことが法律で定められています。職場のリーダー的な役割を任されることも多く、介護業界の中心的なポジションとすることができます。

長く活躍できる

資格に有効期限はありません。出産や育児、家族の介護などで、一時的に働けなくなったとしても、再び資格を生かして活躍できます。

可能性が広がる

上位資格の「認定介護福祉士」やケアマネジャーにチャレンジするなど、キャリアアップの可能性が広がります。

給与アップにつながる

介護福祉士であれば初めから資格手当として月額1万円～1万5,000円ほど支給されるのが一般的です。昇給や昇格のスピードも速くなります。

就職に困らない

超高齢化と言われる日本では、どの職場でも介護福祉士は欠かせない存在。資格を持っていれば就職に困ることはまずありません。

自信を持って働ける

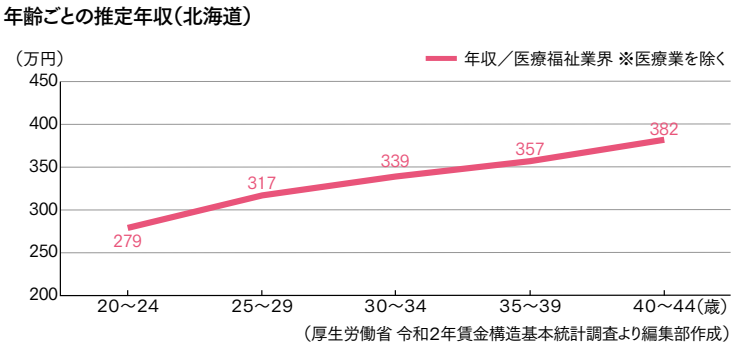
介護福祉士の資格は、介護に必要な知識や技術が身に付いていることを国が認めてくれた証。自信を持って仕事に取り組みます。

介護福祉士になるメリット

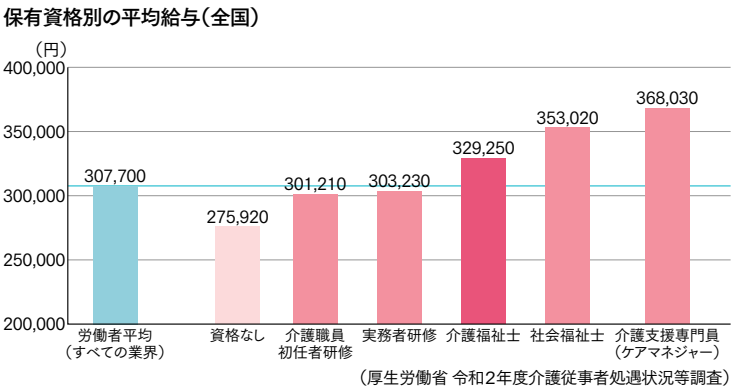


介護のシゴトの収入は？

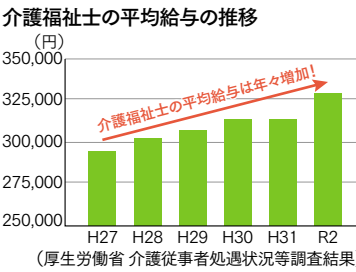
「介護職の収入はどれくらい？」社会人として働くからには、お給料事情はやはり気になるもの。では、実際はどのようなのでしょうか？ 下のグラフは北海道内の医療福祉業界（病院、歯科医院などの医療業を除く）の給与をまとめたもの。介護職の場合、介護福祉士などの資格をとって経験を積むと、比較的若いうちからホーム長や施設長に抜擢されることも少なくありません。役職が付けば「役職手当」などが加算され、収入は大幅にアップします。



収入が多いか少ないかは**資格の有無**が大きく影響。



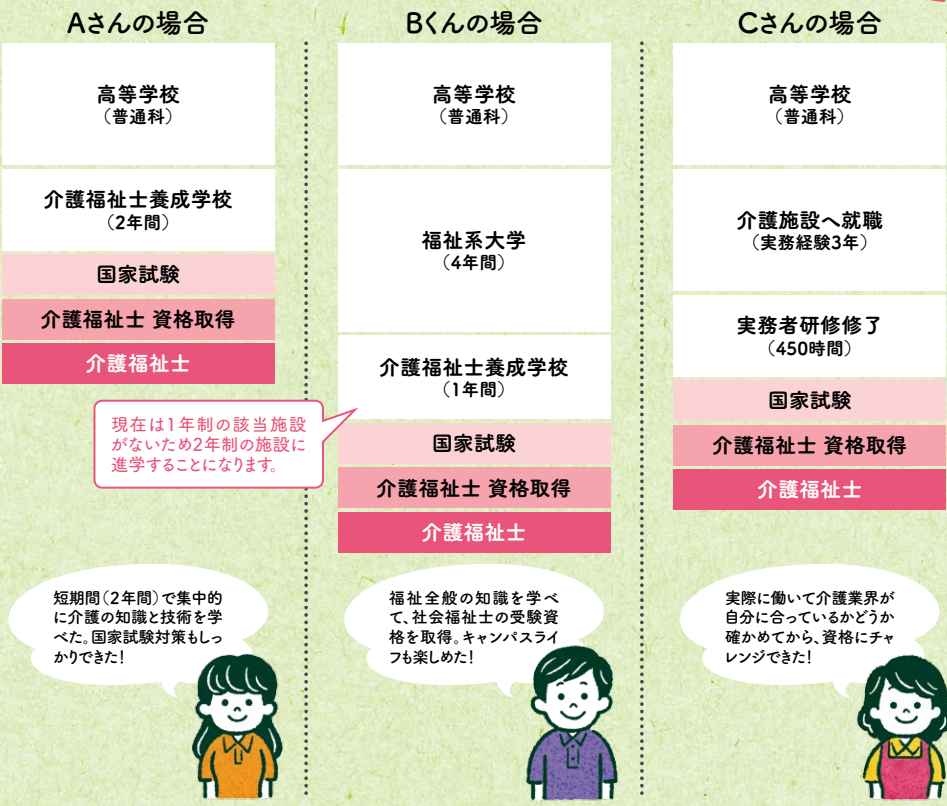
業界全体で取り組んでいる処遇改善によって、介護職の待遇は年々向上しています。人口減少が進む日本では介護人材へのニーズが大きく、特に介護福祉士は引く手あまた。給与などの条件をしっかりと見極めて就職先を選ぶことができます。



介護福祉士になるには？

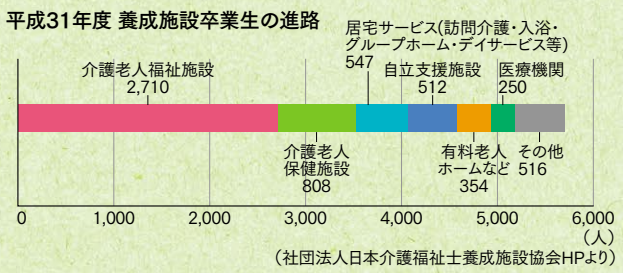
介護福祉士の資格を得るには「介護福祉士国家試験」に合格する必要があります。受験するにはいくつかの道があり、一般的なのは介護系専門学校などで学ぶこと。介護施設などで3年以上働き、「実務者研修」を修了することでも受験できます。

「介護福祉士」への道のり



数字で見る介護福祉士

介護福祉士の資格を持っている人は全国におよそ175万人。国家資格の合格者数は、ここ数年は5万人前後で推移しています。専門学校などの養成施設を卒業して、国家資格に合格した人の進路は次のようになっています。





「介護福祉士の試験に合格した時は『国家資格なんてスゴイ!』と両親も喜んでくれました」

**華やかな世界に憧れる
フツの女子高生でした。**

「ファッション業界って楽しそう」とか、「美容業界もステキ」とか、やりたいことはたくさんあったんです」

そう話してくれたのは札幌市厚別区にある介護老人保健施設コスモスで介護福祉士として働く荒木桃子さん。高校2年の時に「あなたは面倒見が良いから」という両親の勧めで北海道介護福祉学校（栗山町）のオープンキャンパスに参加。そこで一気に介護業界への関心が高まりました。

「それまで介護の仕事というと『重労働でとにかく大変』というイメージしか持っていませんでした。ところがオープンキャンパスで詳しくお話を聞くと、利用者さんの服をコーディネートするファッション業界のような仕事があったり、髪をとかして可愛らしくアレンジする美容業界のような仕事があったり、介護には自分のやりたいことが全部詰まってる!と感じたんです」

学校を案内してくれた先輩たちもキラキラ輝いているように見え、ぜひここで学びたいと入学を決めました。

**介護福祉士の
資格が取れる学校を
選んだのは大正解。**

北海道介護福祉学校は全国で唯一の公立の介護福祉専門学校。苫小牧市で育った荒木さんは入学と同時に学校隣接の寮での生活をスタート。

「学生時代は赤字を取らないように、いつも必死で勉強をしていました(笑)。テスト前に寮で友達と『一夜漬け』に励んだのも良い思い出です。在学中には介護施設での実習もありました。プロの介護を目の当たりにしてスゴイ!と感激し、自分もこうなりたいと学校での勉強にも力が入りました」

現在勤務するコスモスは、荒木さんが2年生の時の実習先。職員同士が阿吽の呼吸で働く様子を憧れを抱き、このチームの一員になりたいと思ったそう。

また、北海道介護福祉学校は全国屈指の合格率を誇る介護福祉士養成校としても知られ、荒木さんも資格を取得済み。

「今考えると在学中に取っついておいて本当



**やりたいことが
全部詰まってる!
だから介護を選びました。**

教えて!
介護ではたらく
魅力

介護老人保健施設 コスモス
介護福祉士

荒木 桃子さん
(23歳/介護職歴3年)



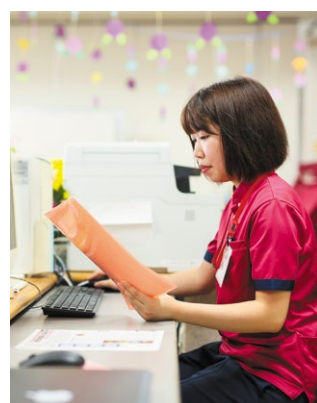


看護主任 千葉明美さん

介護の仕事は高齢者の「お世話係」ではありません。一つひとつの取り組みにきちんとした根拠があり、知識や技術に基づいて生活の質を高める専門職です。より高度な仕事を追求できる奥深さがあり、人に尽くす喜びも感じられる素晴らしい職業だと思っています。荒木さんは若いのに落ち着きがあり、利用者さんの間でも職員の間でも人気者。持ち前の明るさを大事にして活躍を続けてほしいと思います。

はないし、その日の気分で『今日はお風呂に入りたくない』ってこともあると思うんです。そんな中でどうすれば受け入れてもらえるかを模索することにはやりがいを感じますし、利用者さんの気持ちにより添えた実感できた時は喜びもひとしおです”
これからも「自分の明るさを大切にしていきたい」と荒木さん。その言葉通りの輝く笑顔が印象的でした。

医療法人 徳洲会
介護老人保健施設 コスモス
札幌市厚別区厚別町山本1063-28
TEL 011-895-1110(代)
<https://www.cosmoskaigo.com/>



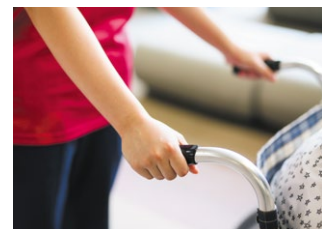
介護福祉士として晴れてコスモスに採用された荒木さん。それでも入社当初は介護現場で働く厳しさを実感する場面もあったよう。
「学校で教わった通りには介助できなかったり、初めての夜勤でプレッシャーを感じたり、とにかく毎日が精いっぱい。家に帰るなりベッドで眠り込んでしまい、夜中に目が覚めて晩ごはんを食べる…なん

に良かったです。働きながら資格を目指す人もいますが、仕事と勉強の両立は大変そう。ワタシにはきつと無理だなんて（苦笑）
「ももちゃん、頑張って」という利用者さんの声にも励まされて。

コスモスには認知症を患う方も多く生活し、病気のせいで周囲が予想できない言動をとることもあります。
「怖い」と感じる人もいるかもしれませんが、すべての利用者さんがそうではありません。本気なのか冗談なのか、ふとした言動に思わずクスリとしてしまうこともあって、ほのぼのとした気持ちになることもしばしば。突然『結婚しよう！』

「学校で教わった通りには介助できなかったり、初めての夜勤でプレッシャーを感じたり、とにかく毎日が精いっぱい。家に帰るなりベッドで眠り込んでしまい、夜中に目が覚めて晩ごはんを食べる…なんに良かったです。働きながら資格を目指す人もいますが、仕事と勉強の両立は大変そう。ワタシにはきつと無理だなんて（苦笑）
「ももちゃん、頑張って」という利用者さんの声にも励まされて。

てこともよくありました（笑）」
それでも一日でも早く先輩たちに追いつこうと早起きして仕事の準備に取り組むなど、ひたむきな努力を重ねます。新人時代の苦労も楽しそうに話す姿に、その理由を尋ねました。
「大変だけど自分の力になっているって実感があつたんです。毎日が勉強で、学ぶことが楽しかったというか。後悔は一度もありません。利用者さんも『ももちゃん、頑張って』と応援してくれて、とても励みになりました」



と言われた時は、さすがに驚きましたけど（笑）」
毎日が本当に楽しいと、荒木さんの眼差しはとにかく真っ直ぐ。
「もちろん大変なことはあるし、利用者さんに『拒否』をされると悲しい気持ちにはなります。ただ、悪気があるわけ

“将来はケアマネに”と考えたことはあるものの、まだまだ現場でステップアップしたいと意気込む荒木さん。





ユーモアを交えて話す施設長と。
「些細な相談にも応じてくれるんです」

「介護は心の仕事」 その言葉を 実感する毎日です。



教えて！
介護ではたらく
魅力

特別養護老人ホーム
南幌みどり苑
介護福祉士

山川 昂平さん
(22歳／介護職歴2年)

デイサービスで 楽しそうに働く 母親の背中を見て。

「母がデイサービスの職員。幼い頃から母の職場で遊んだり、その仕事ぶりを見て育ったので介護の世界がとても身近だったんです」と語るのは山川昂平さん。南幌町の中心部にある特別養護老人ホーム「南幌みどり苑」に勤務する介護福祉士です。

山川さんは足寄町の出身。地元の高校を卒業する際、10年間続けてきた野球の道に進みたいという夢もありましたが、おじいちゃんおばあちゃんに慕われながら楽しそうに働く母親の姿に自分の将来が重なり、栗山町の介護福祉学校への進学を決めました。

「入学当初は高校の延長のふわふわした気持ち。でも尊敬できる先生や同じ夢を追いかける仲間と出会い、さまざまな経験を重ねる中で、誰かの役に立つ存在になりたい、介護の世界で活躍したいという気持ちが強くなっていたんです」
2年間共に学んだ仲間たちの多くは、

道内各地の施設や病院など、介護の最前線で働いているそう。今もメールやラインで情報交換をすることが多く「それが刺激になったり、時に勇気づけられたりすることもあるんです」と笑います。

介護のイメージを 変えてくれた 施設長との出会い。

山川さんが就職先に南幌みどり苑を選んだ理由とは何だったのでしょうか。

「一年生の時、先生が推薦してくれた実習先が南幌みどり苑でした。そこで出会ったのが当時はまだ係長だった佐久間さん（現施設長）。介護という仕事の意義、そこに生まれる本来のやりがいなどを一つひとつ言葉にして、教えてくれました」

例えばお年寄りのために身を粉にして働く…そんなイメージを抱かれがちな介護を「お年寄りたちのヒーローになる仕事」と表現しモチベーションを高めてくれたり、閉ざされた印象を持たれがちな介護施設を開放的な雰囲気にするためのアイデアを熱心に語ってくれたり。



谷夏希さん（右側）
とは同じ学校卒の
同期入社だそう。

「温かな施設というより、自分の親に利用させてあげたい施設と表すほうがしっくりくるように、漠然としていた介護の世界をわかりやすい言葉で表現してくれました。それまでのモヤモヤが消え、目の前がぱっと開けたような気持ちになりました」

さらに職員のみなさんの充実感あふれる表情、満面の笑顔を見せる利用者のみなさんの様子などにも背中を押され、山川さんは「年生の時点で、南幌みどり苑への就職を決めていたといいます。

お年寄りの信頼は 小さな取り組みの 積み重ねから。

佐久間さんのような頼もしい存在になりたい。誰からも慕われる介護スタッフでありたい。そんな思いを抱いて働き始めた山川さんでしたが、実社会はそれ



ささやかな、 けれど温かな 一言が聞きたくて。

介護の仕事に就いて2年。額に汗しながら利用者さんと接する山川さんの姿はとてもハツラツとしています。

「そうですか（笑）。まだまだ失敗の連続ですけどね」と照れ笑いをする山川さんですが、最近「キミがいてくれて良かった」「あなたがつくるかき氷が大好き」と声をかけてくれる利用者さんが一段と増えたとか。

「なにげない言葉だけれど、とっても温かで心にジンと響きます。そんな声をもっともって聞きたくて、次の仕事、次の作業に取り組んでいる気がするんです」

ふと利用者さんと呼ばれ、そちらのほうへ駆け寄る山川さん。その胸に、学生時代のあの研修の時に佐久間施設長が教えてくれた一言がよみがえります。

—— 山川くん、

介護は心の仕事なんだよ。——

ほど甘いものではなかったようで…

「利用者さんのためにと思ってしたこと余計なおせっかいだったり、今すぐ来てほしいと言われているのに手が離せなかったり。利用者さんを怒らせたり戸惑わせたりすることもしょっちゅう。最初の頃は、頭で考えていたことと自分の行動のギャップに戸惑ってばかりでした」

加えて利用者さんとの距離が縮まらない、時間内に作業が終わらないなど課題は山積み。そんな凹みがちの日々を支えてくれたのは、職場の先輩たちでした。「一人で解決しようとせず、辛いことや不安をどんどん打ち明けてと言われました。そしてみんなで取り組んでいこうと。その一言ですつと心が軽くなった気がしました」

さらに利用者さんを「お年寄り」という同じ枠にはめるのではなく、一人ひとりをしっかり見据えその方に最適な対応を心がけると、互いの距離は少しずつ縮まっていくこともわかってきました。

「利用者さんからの信頼は、日々の取り組みの積み重ねが築くものなんですよね」

先輩からのひとこと



施設長 佐久間竜太さん

介護の仕事はスタッフのやさしさや思いやりに注目が集まりがち。けれどスタッフが納得のいく給料を得たり、各自の将来を思い描ける制度や環境を整えてあげることも大切です。南幌みどり苑はそれらを一つひとつ文章化し、スタッフに分かりやすく伝える「事業計画書」を制作しています。自分の役割や目指す目標が明確になるため、働きやすさがアップし、職場のモチベーションも高まっています。



申し送りやミーティングは午前中の日課。
和やかな職場の雰囲気が伝わってきます。



社会福祉法人 南幌福祉会
特別養護老人ホーム 南幌みどり苑

南幌町元町2丁目2-2
TEL 011-378-1556
<https://www.n-fukushikai.or.jp/>

負担は減って
職員の笑顔が増えました



「眠りのセンサーと支援ソフトで日々の業務が超効率化！」

函館市にある高齢者複合型介護施設「ライフプレステージ白ゆり 美原」では、離れていても利用者の睡眠の状態がわかる「眠りスキャン」というセンサーと、介護の記録などを簡単に入力・管理できる「ケアカルテ」という支援ソフトを導入して日々の業務を効率化。デスクワークに費やしていた時間が7分の1に減ったり、夜勤の人数を減らすことができたり、職員負担が大きく軽減されています。



各部署の利用者の眠りの状態がひと目で分かる眠りスキャン。ナースコールと連動していて、異常があればすぐに職員が駆けつけます。

職員同士の情報共有もタブレットで。コンパクトで持ち運びしやすいのも便利！



この方は

もうそろそろ
お声かけ...



個人個人の睡眠パターンがわかるので、眠りの浅いタイミングで声をかければ深夜のトイレ誘導もスムーズだそう。

なるほど...

高齢者複合型介護施設 ライフプレステージ 白ゆり 美原

函館市美原2丁目50-2
TEL 0138-34-3231
<http://www.shirayuri.gr.jp/>



スキマ時間でパパッと記録！「書きものに追われることがなくなり、利用者さんとのコミュニケーションが増えました」



介護記録の作成にはタブレットを活用。手書きよりも簡単に入力でき、たくさんのファイルを広げる手間もナシ！

〜オドロキ！ふーん、なるほど！

イマドキ 介護の現場から

このごろの介護業界では業務を効率化したり、利用者のサービスを向上させたりするためにITやAIなどの先進技術を活用するのが当たり前となりつつあります。イマドキ介護の最前線をご紹介します！

AI技術を駆使した 最先端の リハビリを提供！

札幌の「エルパサ」は、AI技術を活用し利用者一人ひとりに最適なリハビリを提案する最新デイサービス施設。2千㎡に及ぶ広い館内には、筋トレ、有酸素運動、ストレッチ、栄養管理等のテーマに応じた設備が備えられており、利用者は楽しみながら、科学的なトレーニングに取り組むことができます。また日々のリハビリはクラウドデータ化（ICTリハ）され利用者の以降の健康維持に活用されていきます。



利用者のリハビリプログラムや行動履歴は、スマホやスマートウォッチに表示。職員の省力化にも役立ちます。



「ICTリハ」の考えを取り入れ、効率的+科学的なプログラムを展開できるジムスペース。



ひびき〜

健康寿命をもっと長く！



デイトレセンター室長
柴田 直彦さん

Eスポーツのゲーム機を取り入れていることも特徴の一つ。



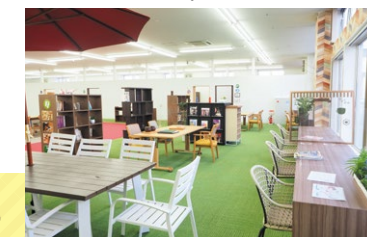
次世代型デイトレセンター ライルパークsapporo Lpasa(エルパサ)

札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40
TEL 011-790-5536
<https://lilepark-sapporo.com/>



ゴルフ好きなお年寄りに人気のジュミレーションゴルフ。「好き」と「リハビリ」をつなげることも大切。

ひと休みできる読書コーナーも用意。そのほかカフェコーナーやパン教室など趣味を生かせるスペースも。



デイサービスは 介護の仕事の入口です！



高校を卒業して飲食店で勤務したという澤井さん。しかし成長が実感できない環境に疑問を感じるようになり3年ほどで転職を決断しました。

「選んだのは介護業界。正直、大きな理由はありません。時間に追われないのがいいな、と思ったくらい」

そんな「深く考えない」入社だったからか、やはり最初の頃は戸惑うことも多かったよう。「初対面の利用者さんと何話をしよう？ 気難しそうなあの人にどう接すればいい？ 毎日がそんな感じでした」

しかしある日ふと気づいたそう。

「利用者さんにとってみれば私も初対面。ましてやオロオロしている新人なら頼ってみたいと思わないのも当然です。だとしたら、私から一歩近づけばいいんじゃないかって。勇気を出して声をかけて、これまでのこと、家族のこと、好きな食べ物、なんでも話してもらえばいいんじゃないかって」

そんな風に気持ちを切り替えてからは、利用者さんに距離を感じることもなくなったという澤井さん。今はみな

さんとおしゃべりする時間が一番楽しいと笑います。

ところで澤井さんが勤務する小多機とはどのような施設なのでしょう。

「利用者さんの住まいとデイサービスが一緒になった建物です。毎朝、2階の自宅から降りてくる利用者様をお迎えした後、午前中はお部屋の掃除や入浴の介助、お昼ごはんを挟み午後からはリハビリやレクリエーションなどで過ごします。16時に利用者さんは再び2階へ。あとは簡単な書類整理をして17時には帰宅します」

ちなみに残業も休日出勤もなし。業界には利用者さんの介護度などに応じてさまざまな施設が用意されていますが、ここは未経験者や初心者に適しているそう。

働き始めてまもなく一年半。

「以前は『介護』お年寄りに尽くす仕事』というイメージでしたが、今は『自分たちも一緒に楽しむ仕事』に変わりました。人と『おだやかに』接する仕事がしたいなら、私は介護業界をすすめますね」

*小多機＝小規模多機能型居宅介護

社会福祉法人パートナー
小規模多機能型居宅介護 コミュニティ青葉

石狩市樽川6条2丁目3-2
TEL 0120-162-168
<http://www.partner.or.jp/>



尽くすのではなく
一緒に楽しむことが
大切なんです。



教えて！
介護ではたらく
魅力

小規模多機能型居宅介護
コミュニティ青葉
介護スタッフ

澤井 菜月さん
(22歳／介護職歴1年半)



兄の支えになりたくて 介護の世界を 目指しました。

函館空港にほど近い、緑豊かな高台にある介護老人福祉施設シンフォニー。ここで介護福祉士として働くのは木村まゆさん。

「お子様ランチに付いているような、小さい旗。私が作ったのを利用者さんが大事に取っておいてくれるのを見た時に、この仕事を選んで良かったって、すごく思ったんです」と、ちょっと照れたように話してくれました。

介護の世界で働こうと思ったのは小

誰かに頼られるって
本当にうれしくて、
しあわせなこと。



教えて！
介護ではたらく
魅力

介護老人福祉施設
シンフォニー
介護福祉士

木村 まゆさん
(19歳／介護職歴1年)

学生のころ。お兄さんに重度の障がいがあり、子どものころから兄の手助けをする介護士さんをよく見てきたのだそう。「その様子に憧れて、自分もこんな風に兄を支えられるようになったらと思うんです」

高校進学では、迷うことなく道南地域で唯一福祉科がある函館大妻高等学校へ。卒業時には国家試験にも合格し、介護福祉士の資格を得ました。

「高校に入学した当初は、介護は世の中に貢献する素晴らしい仕事」と素直に思っていたのですが、次第に周囲から『介護は辛い』『忙しい』という声が聞こえてきて、不安になったこともありました。それでも、1年生の時に実習をさせてもらった介護施設で職員の方々と利用者さんが楽しそうに触れ合っているのを見て、改めてこの世界で働きたいというキモチが強くなったんです」

木村さんが実習で訪れた施設こそ、現在の職場「シンフォニー」。高校の2年目、3年目にも施設実習がありました。が、「ここが一番明るかったから」と入社を希望しました。

手作りのリストとメモで、
仕事に「漏れ」がないように
しているのだそう。



声の掛け方で変わる 介護の奥深さを知って。

憧れを抱いて飛び込んだ介護の世界で木村さんを待っていたのは、認知症を患う様々な利用者でした。思うように意思疎通ができない「もどかしさ」を感じ、



「うるさい」「近づくな」といった言葉にも深く傷つきました。一方、仲の良い先輩が丁寧に声掛けをしながら上手に利用者との距離を縮めているのを目の当たりにし、接し方を変えることで相手の反応も変わっていくことを知りました。

「立つ、座る、おむつをはすす…普段は気難しい利用者さんに対して、次に何をするのか、一つひとつ説明しながらスムーズに誘導している先輩の姿を見て、すごいなと思うと同時に介護の奥深さに気付かされました」



「しっかりと技術と知識を身に付けて将来は兄の支援に携わりたいんです」と木村さん。

もちろんすべての利用者が職員への暴言を口にするわけではありません。トイレに付き添ったり、食事の準備をしたり、木村さんが何かするたびに「ありがとう」「どうもね」と感謝の気持ちを伝える人がほとんどで、その一言一言に心が温かくなるのだと言います。

「中には『アナタにやってもらえるのが、うれしい』とか『アナタが一番上手』なんて、言ってくださる方もいて、もっと力になれるように頑張ろうと気持ちが前向きになります」

家族のように温かな 職場の仲間が支えに。

どちらかといえば人見知りだという木村さん。自分から積極的に話しかけるのは得意ではなく、他人を前にするとつい尻込みをしてしまいがち。しかし、シンフォニーで働く姿はとても楽しげで、同僚や先輩と和気あいあいと「ミニケーション」を取っています。

「この職場は職員同士の距離が近く、まるで家族のような雰囲気なんです。私が話しかけるのをためらっていたりすると、

向こうからどんどん声を掛けてくれるので、ありがたいですね」

入社当初は先輩たちが皆で木村さんを育てようとしているのも伝わってきて、早く先輩たちに追いつきたいと一層、仕事に打ち込みました。

何気ない日々の笑顔に 癒されています。

「普段は無口な利用者さんが、ふいに戦争の思い出を話してくれたり、函館大火について聞かせてくれたりすることがあります。認知症があっても昔の記憶がしっかりといることに驚かされますし、そういう会話を通じて利用者さんの生い立ちや人となりを知れるのがうれしいんです」

親しくなった利用者や冗談を言って笑い合つことも多く、おだやかな日々の中の何気ない笑顔に癒やされ、幸せな気持ちになるのだそう。

「行事があると職員みんなで壁の掲示物を作ったり、食事に小さな旗を立てて飾り付けたりします。利用者さんも喜んでくれて、『いいぞ、いいぞ』なんて褒め



社会福祉法人 慎人会
介護老人福祉施設シンフォニー
函館市中野町74-1
TEL 0138-58-2000
<https://www.behappy-symphony.com/>



先輩からのひとこと



介護主任 前田洋子さん

医療が患者さんの病気そのものを治そうとするのに対し、介護はその症状がどのようなものであっても相手に寄り添ってケアをするのが役割です。想像力を働かせて接し方を模索し、その先に利用者の信頼と笑顔が待っています。木村さんは真面目でおとなしい印象ですが、内に秘めた負けん気の強さはなかなかのもの（笑）。これからも自分の信じるものを大切にしながら成長してくれることを願っています。



毎日少しずつ、信頼を 積み重ねていくのが大切。



優衣さんは楽しく働くがモットーの25歳。

「もともとお年寄りとお話をするのが大好き。心がほっこりするから(笑)」

つい最近まで接客のパートをしていましたが、近所の介護施設の求人を知り思い切って応募。正社員採用という点にも背中を押されました。

「将来のことを考えるとやはり正社員が安心。ここはデイサービス施設なので初めての介護の仕事としては最適だとも思いました」

一日の仕事を簡単に紹介すると「朝は出迎えとデータの記録。その後入浴の介助をします。お昼ごはんの後はフリースペース。リハビリのサポートのほか、ゲームの相手をしたりお話をしたり。16時には片付けが始まるので一日が過ぎるのはあっという間です」

残業や体力仕事が多いと予想していた優衣さんでしたが、実際は残業もなくて体の負担も多くないことに驚いたとか。さらに：「スタッフ皆さんの優しい気遣いにも感動しました。介護の世界って人に親切に接することが当たり

前なんです」

この仕事に就いてそろそろ2カ月。

「思ったより楽しくて、思ったより大変というのが正直な気持ちです。利用者の皆さんとの距離が縮まっていくことや、感謝の声をもらうことにやりがいを感じますが、一人ひとりの性格や好みを覚えるのは苦労しています」

苦手な食材や体を洗う順番、リハビリの内容など生活スタイルは人それぞれ。それを理解するためにはそれなりの時間と経験が必要なのでしょう。

「それでも日々を追うごとに『大変さ』より『楽しさ』が増えていくのを実感しています。だって今日まで一度も辞めたいと思わなかったもの」

当面の目標は資格を取得すること。会社の支援があるため、初任者研修の資格を取得する日もそう遠くなさそうでは最後に学生さんへのメッセージを。

「仕事選びは、つついとお休みや給与を気にしがち。でも一番大切なのはどんな人たちと働くかということ。長続きする秘訣は職場の雰囲気に尽きると思っています」



株式会社青山
QOL向上センター「希望のつぼみ屯田」
札幌市北区屯田6条7丁目5-25
TEL 011-770-6622
<http://www.kibounotsubomi.com>



将来の仕事選び、
大切なのは
どんな人たちと働くか
だと思います。

教えて！
介護ではたらく
魅力

QOL 向上センター
「希望のつぼみ屯田」
介護スタッフ

佐々木 優衣さん
(25歳／介護職歴2カ月)

介護職の コッがスゴイ！

「はたらく仲間」に
聞きました。

「看護師」
から見た介護職



**介護職は…
わずかな変化も見逃さない
生活援助のスペシャリスト**

看護師としてのキャリアは30年以上で、そのほとんどで介護職の人たちと一緒に仕事をしてきました。基本的に看護師は医師とともに病気を治すことを第一に考えます。熱があれば下げ、痛みがあれば取り除くといった「治療」の専門家です。

一方、介護職は生活全般を支える「援助」のスペシャリスト。利用者さんの毎日に寄り添っているからこそ「いつもと何かが違う…」

といった、わずかな変化にも気づくことができ、病気の早期発見につながる例は少なくありません。治療が必要となれば、私たち医療職の出番です。

利用者さんの病気が治ってから、介護職の存在は欠かせません。もとの生活に戻れるように心身両面から明るく優しくサポートする様子には「さすが」という思い。同じチームで働く仲間として、頼りになる存在ですね。



看護師
伊藤 慶子さん

介護福祉士
荒木 桃子さん

これまでご紹介してきた介護施設では介護職はもちろん、看護師やリハビリスタッフ、ケアマネジャー、ソーシャルワーカーなど、各分野の専門家が連携して利用者の支援を行っています。チームワークが不可欠なこうした職場で、介護職はどのような役割を果たしているのか、お話を聞いてみました。



作業療法士
中村 雅さん

介護福祉士
木村 徹さん

「リハビリスタッフ」
から見た介護職



**介護職は…
訓練室と生活の場をつなぐ
欠かせないパートナー**

利用者さんの自立をサポートするという使命はリハビリスタッフも介護職も同じだと考えています。ただ、リハビリスタッフの場合、利用者さんと接するのは訓練室にいる時間に限られてしまうのが実情。この施設であれば1日20分から30分程度なので、訓練室の外の生活状況を知るには介護職との協力が不可欠です。

例えば「ベッドから立ち上がるのが大変そうだった」という話を聞けば、必要な身体機能を高めるリハビリをメニューに組み込みます。

またリハビリは、訓練室に通いさえすれば身体機能が高まるものではありません。訓練室でやったことを日々の生活に落とし込み、日常的に取り組んでいくことが肝心。その際、利用者さんの気持ちやプライドを尊重しつつ、リハビリへの意欲を後押しできるのは介護職の他にはいません。私たちの専門性を発揮するためにも、欠かせないパートナーだと考えています。



介護を学ぶセンパイに聞いてみよう！

北海道介護福祉学校◎学生インタビュー

北海道のほぼ中央に位置する栗山町。ここに全国でも珍しい「公立」の介護福祉士養成校、北海道介護福祉学校があります。開校から30年以上の歴史があり、OB・OGの多くが介護の最前線で活躍中。同校で学ぶ二人のセンパイのリアルな声を聞いてみました。

——介護を学ぼうと思ったのはどうして？

前田さん 高校の先生から就職先として介護施設を紹介されたのがきっかけです。高校卒業と同時に働き始めるつもりだったんですが、施設の方から『介護福祉士を取るまで待っている』と言ってもらい、こちらに入学することになりました。

佐藤さん 介護の世界に興味を持ったのは高校時代。きっかけは介護施設での職場体験ですね。地元の厚岸も高齢化が進んでいて、介護福祉士になれば

地元で貢献できると思いました。この学校を選んだのは公立で学費が安く、親への負担が軽くなると思ったからです。

——もともと介護にはどんなイメージがあった？

佐藤さん おじいちゃん、おばあちゃんとお話をするとか、日常生活のお世話をする…というイメージかな。私は祖父母と同居してたので、お年寄りとのコミュニケーションは抵抗なくできそうだと思ってました。

前田さん 僕の周りには介護施設で働

いている親せきが何人かいるんですが、話を聞く限り、あまり良いイメージではなかったんです。肉体的にキツいか、大変だという話をよく聞かされていて…（苦笑）。

——実際に入学して、介護を学んだ印象はどうでした？

前田さん 聞いていたほど大変ではなさそうだった。実習に行った障がい者施設では最初はうまく利用者さんとのコミュニケーションができなくて迷惑をかけてしまったんですが、一週間もしたら相手が伝えようとしていることが理解できるようになって、自分が誰かの役に立てることにやりがいを感じるようになりました。

佐藤さん 私も実習に行くまではいろいろ不安だったし、最初の数日はオロオロするばかりで、一日に何度も職員さんに質問していました。でも、自分が何かする度に喜んでくれる利用者さんがいて、些細なことでも『ありがとう』と言われるのが嬉しかったです。

——この学校の良いところは？

佐藤さん 先生たちの面倒見が良いと

ころですね。授業で教わる内容は難しいですが、先生たちは親身にサポートしてくれて、分からない所があれば個別にみっちり教えてくれます（笑）。私は寮に住んでいるので、困ったことがないか、いつも気に掛けてもらっています。

前田さん 就職する前にしっかりと知識を身に付けられるところかな。働き始めてから介護福祉士の資格を取るのは大変だし、きつとどちらかがおろそかになってしまうはず。ここに入学したことで出会えた仲間や先生も今後の財産になると思います。

次のページでは学校の日をご紹介します！



北海道介護福祉学校

栗山町字湯地60番地 TEL 0123-72-6060
<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/kaigofukushi-s/>

北海道介護福祉学校2年
（岩見沢農業高校出身）
前田 栞汰さん



北海道介護福祉学校2年
（厚岸翔洋高校出身）
佐藤 莉緒さん



お二人は2021年3月に卒業し、介護福祉士試験に合格しました。

おしえて!

おくしち先生!

「介護の世界で働いてみたいけど、何から始めていいかわからない!」
「専門学校で学んだほうがいい?」そんな疑問に、北海道介護福祉学校の悪七(あくしち)先生が答えてくれました!

介護福祉士の養成校では、心と体の仕組みや、身体介助の技術、介護を取り巻く法律、医療ケアなどについて学ぶのが

A 体の仕組みや
介護の技術、医療ケアまで幅広く学びます。

Q 学校ではどんなことを
学ぶの?

介護の世界で働き始める時に、必ずしも資格や経験が必須というわけではありません。無資格の人を採用して必要な研修を受講させる施設も多いので、まずは飛び込んでみるのもひとつの方法です。ただ、将来のステップアップを考えるなら、専門学校で基礎を学び、介護福祉士の資格を得てから就職するほうが断然オススメ。資格の有無でお給料にも大きな差が出ます。

A 介護福祉士の資格を
取るためにも専門学校で
学ぶのがオススメ。

Q 専門学校で学んだほうが
いい?

気になるギモンに答えます!

社会の高齢化で介護人材を求める声は多く、特に介護福祉士の資格を持っているれば就職に困ることはないはず。各学校では国家試験に向けた対策も充実させています。本校では就職だけでなく大学進学(3年次)に編入し「社会福祉士」や「精神保健福祉士」などの資格を目指すことも可能です。

A 就職率は
「100パーセント」。
大学進学も可能です。

Q 卒業後はちゃんと
就職できる?

一般的で、介護施設での実習もカリキュラムに組み込まれています。学校によってもさまざまな特色があり、例えば本校では福祉先進国フィンランドへの留学を実施したり、栗山町の方々を対象にしたケーススタディなどを取り入れています。

北海道介護福祉学校 副校長

悪七 尚広 先生

同校で教鞭をとるかたわら、北海道内の高校生に向けて介護業界の魅力を伝える活動に取り組む。指導を受けた多くのOBOGが介護の現場で活躍中。



こんなことを 学んでいます!



北海道介護福祉学校の学習カリキュラムは2年間で展開されます。講義では介護の基本や心と体のしくみ、病気の基礎知識を学び、演習で日常生活を支える技術や医療的処置の方法を学びます。

また、2年間で約70日間に及ぶ実習があり、学校で学んだことが実際の現場ではどのように活かされるのかを実践で習得します。さらに、施設で働くことで介護を受ける利用者とのコミュニケーションやスタッフ間のチームワークを身に付けます。



移乗介助の練習

ベッドから車椅子へ移乗介助の技術を習得。介護現場で使われている移乗リフトの操作も学びます。

🕒 ある一日のスケジュール

8:50~ 朝のホームルーム

9:00~10:30 授業時間(座学)

一年次は教室での講義が多く、介護に必要な基本的な知識をしっかりと身に付けます。



10:40~12:10 授業時間(調理実習)

12:10 昼休み

13:00~14:30 授業時間(座学)

14:40~16:10 授業時間(実技演習)

17:00~ サークル活動



手話サークル



体位変換実技

自分の力で体位を変えられない人を介助するために、相手にも自分にも負担の少ない体位変換の方法を学びます。



車いす実技

段差やスロープを使い、車いすを使った介助技術を学びます。屋外にも負担の少ない体位変換の方法を学びます。



ベッドメイクの練習

シーツのシワは褥瘡(床ずれ)のリスクを高めるため、ベッドメイクの技術は大切。



医療的ケアの演習

授業にはたんの吸引など医療的ケアの演習も。介護現場で求められる専門技術を習得。

北海道で就職しよう！

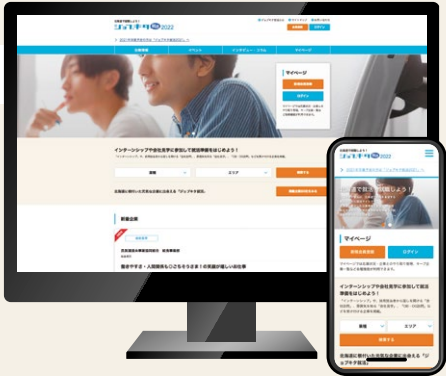
ジョブキタ 就活

「地元・北海道で就職したい」新卒や第二新卒（卒業後3年以内）のための就職情報サイト。北海道で働きたい学生の就活を全面的にサポート！

北海道内企業の新卒採用情報を配信。合同企業説明会、キャリアアドバイザーによる就活個別相談、就活講座・セミナー、新卒学生向けの就職紹介（無料就職エージェントサービス）など、就活に役立つ就職情報・イベントを提供しています。



<https://www.jobkita.jp/shukatsu/>



就活2022

ジョブキタ就活 公式Twitterアカウント

@jkshukatsu2022

企業情報や合同企業説明会など就活に役立つ情報を配信中！

札幌・北海道の企業へ相談転職するなら

ジョブキタ 紹介

地元北海道の企業さまとのネットワークを活かし、あなたに寄り添う親身なサポートで、就職・転職活動をしっかりサポートします！

転職したい、自分に合う仕事が見つからないなど、就職・転職の不安や疑問をとことん解消し、希望に合ったお仕事をご提案しますのでお気軽にご相談ください。就職相談は無料でご利用いただけます。



<https://www.jobkita.jp/hrs/>

0120-106-554 ※9:00～17:30 (土・日・祝日除く)

札幌市中央区南1条西6丁目20-1 ジョブキタビル2F

IT、営業、オフィスワークほか幅広い職種を紹介中。特に高齢者介護業界へは多くのマッチングを実現！



札幌のみならず道内各地で紹介実績多数アリ！

道内在住の外国人・留学生サポートも各種おこなっております。

外国人の就職・転職サービス

ジョブキタ 紹介 International people

<https://www.jobkita.jp/hrs/intl/>



みなさんは「エッセンシャルワーカー」という言葉を知っていますか？

警察官や消防士、医師や看護師など、私たちの社会の安全や暮らしの安心を守るために、無くてはならない職業の人たちです。

高齢者の生活を支える介護職員もそのひとつ。

特に資格を持っている介護福祉士ならば高齢化が進むこれからの世の中でますます必要とされることは間違いありません。

誰かに必要とされることは“働くこと”の大きな原動力。

たくさんの笑顔とありがとうに囲まれる介護の世界に少しでも興味を持ってもらえれば幸いです。

未来のしごとの参考書・編集チーム

Webサイトもチェック！

北海道 未来のしごとの参考書

<https://sankousho.haj.co.jp/>

北海道で働く人のリアルがわかる！高校生・大学生のためのキャリア探求サイト
北海道で働く人のリアルボイスを多数掲載。仕事が見える！やりがいがある！みんなの未来を応援するWEBサイトです。

いまこそ介護。あなたを待ってる人がいます。

